

NHK大河ドラマ先取りの ふるさと訪問バス旅行

頸城ふるさと会 会長 関根咲子

「頸城ふるさと会」では、去る五月二十五日・二十六日に「ふるさと訪問」バス旅行を実施しました。二年に一度実施している恒例の行事ですが、当初、今年は果たして参加者が集まるかという心配がありました。

会員の高齢化と、なかなか新しい会員が増えないという悩みがあり、行事などを企画しても、参加者が集まらないというのが最近の傾向だからです。

役員会では、最少催行人員を設定して募集してみようということになりました。しかし、今年は瞬く間に予定した定員(中型バスの乗車人員 28人)に達してしまいました。募集に際して、明年はNHKの大河ドラマに「天地人」が決定したことから、「NHK大河ドラマ」を先取りしようと呼びかけたことが、会員の参加意欲を煽ったようです。大河ドラマ

の筋書きはわかりません。上杉景勝公は米沢藩初代の殿様ですが、上杉謙信公から二代目誕生の際がドラマになれば、私たちの故郷、上越市はもとより「頸城区」のことも取り上げられるかも知れないと期待があります。上杉景勝公が跡目相続を争った「お館の乱」では、「花ヶ崎城」雁金城が争いの舞台となったからです。

旅程は、最初は頸城区の「坂口記念館」を訪ね、ここで二時間の休憩を取ります。何といっても先ずは空腹を満たします。会員と上越市や「ユートピアくびき振興財団」の皆さんと、懇談しながらの昼食です。昼食の後には、郷里の親戚や友人と久しぶりの再会を楽しむ者、バスで雁金城跡へ行く者と二班に分かれての行動となりました。

雁金城跡と伝えられる所は、一般の観

光地と違って、十分な整備がされていませんでしたが、今でも謙信公祭の時には狼煙を上げるとの話を聞いて、当時を偲ぶことができました。素晴らしいのは、山頂から見る頸城平野に広がる水田風景でした。田植直後の水田が一面に広がる風景は、湖の中に集落が浮いているように見えるのです。

高田城址公園では、三重櫓の上って城の歴史に想いを馳せ、その夜の泊まりは赤倉温泉でゆっくり疲れを癒しました。

翌日は、春日山城址へ戻って、神社に参拝、宝物館などを見物、林泉寺では案内嬢から、寺の歴史をご紹介頂き、改めて上杉景勝公の幼少期の歴史を学ぶことができました。

帰りのバスの中では、会員も二日間の旅で打ち溶け合って、次回は「ドラマのその後」、米沢上杉藩の歴史を観光しよう、と盛り上がっていました。



林泉寺にて



雁金城跡にて